

山梨県子ども読書支援センター 2020.3.31

本誌は、県民の皆様へ山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。



子どもの読書指導者養成講座 第3回・第4回実施報告



◆飯塚裕美氏◆

子どもの読書指導者養成講座第3回を、令和元年12月11日（水）に開催しました。「特別支援学校での読み聞かせ～都立多摩図書館での実践から～」と題して、東京都立多摩図書館の飯塚裕美氏にご講義いただきました。

前半は障害に合わせた絵本の選び方と読み方の工夫、子どもの反応について、実演を交えながら講義をしていただきました。後半はグループ学習を行い、特別支援学校でのおはなし会のプログラム作りを体験しました。先生方の要望や生徒の障害、好きなものや嫌いなことを把握した上で、絵本や読み方を決める必要があり、活発な意見交換がなされました。

受講者からは「特別支援学校での読み聞かせを始めたばかりなので、参考になることが多かった。」「基本は寄り添って読むこと。そして記録を取り続けること。やっていきたいです。」等の感想が寄せられました。

第4回は令和2年1月17日（金）に、「おはなし会で楽しむわらべうた」と題して、おはなしとおんがくのちいさいおうち主宰・落合美知子氏にご講義いただきました。

前半はわらべうたの基礎知識や、赤ちゃんの言葉の獲得との関係について、実演を交えながら紹介していただきました。後半は実習を行い、親子で楽しめるわらべうたを体験しました。

受講者からは「昔から伝承されてきたわらべうたは、今の子どもたちにとっても大変大切なものであることを改めて確認することができた。」「同じ歌でも速さを変えることで、年齢に合わせたわらべうたになることがわかった。」等の感想が寄せられました。

この第4回で今年度の全講座が終了となり、講座の後に閉校式が行われ、全講座に出席した19名の受講者に修了証が授与されました。修了者は子どもの読書指導者として登録され、所属する団体リストを当館のホームページで公開しています。



◆落合美知子氏◆

第5回 子どもの読書オープンカレッジを開催しました。



令和2年2月6日（木）に、「人と出会って絵本が生まれる」と題して、絵本作家の西村繁男氏を講師に迎え、講座を実施しました。小・中・高等学校の学校司書・図書館職員のほか、幼稚園教諭、保育士、読み聞かせボランティアや、子どもの読書に関心のある一般の方など51名の参加がありました。

西村氏は40年以上絵本の制作に関わっており、今回の講座では、絵本作品の誕生の経緯や出版までの裏話など、さまざまな人との出会いのエピソードを交えてご講演いただきました。

▲西村繁男氏の話にひきこまれて

後半では、被爆者で語り部の佐伯敏子氏との出会いと、広島を題材にした作品への想いを熱心に語られ、会場全体がその熱量に圧倒されました。参加者からは、「作家の取材や本の作り方など、知りえないことを知ることができてよかった。」「絵本作りへの真摯な思いが伝わり、とてもよかった。まさに人との素晴らしい出会いにより、絵本が生まれているというエピソードに感銘を受けた。」「取材に基づいた正確な絵が、子どもの心をうつのだと思った。」などの感想が寄せられました。

令和元年度 子ども読書支援センター後期活動報告

子ども読書支援センターでは、下記の活動を行っています。令和元年度10～3月の実績報告です。

★見学対応・保育園児等への読み聞かせ	2団体	40名
小学生への読み聞かせおよび施設見学	7団体	297名
支援学校生徒への読み聞かせおよび施設見学	2団体	24名
★職員が対応しない自由見学	103団体	1,454名（令和元年度）



展示「こどもにすすめたい本2020」を開催します！

山梨県内の図書館員が、昨年1年間に出版された図書の中から「こどもにすすめたい本」110冊を選び、冊子を作成しました。この冊子に掲載された本を展示します。

- ◆展示期間：4月18日（土）～5月15日（金）
- ◆展示場所：山梨県立図書館 1階 児童カウンター前

- 冊子は展示場所で配布しています。ぜひ、ご覧ください。

